



## 「まとめの3学期がスタート 48日間」



### 3学期始業式での校長講話

新しい年、2021年(令和3年)となりました。あらためて新年のあいさつをします。皆さんも教室で元気をお願いします。「あけましておめでとうございます。」

今年2021年は、コロナのため延期されていた東京オリンピック・パラリンピックが開かれます。世界中の人たちが新型コロナウイルスに打ち勝って、幸せな日々を迎えるための大事な1年となります。

さて、13日間の冬休みが終わって、今日から48日間の3学期が始まります。児童の皆さん、冬休みは楽しく過ごせましたか。今年のお正月は、雪も降りましたが、少しは雪遊びもできたでしょうか。

今日から始まる3学期は、次の学年にあがるための大事な学期です。特に6年生のみなさんにとっては、それぞれが進学する中学校につながる、とても大事な3学期です。



いま、1年生・3年生・5年生の代表児童の皆さんから、「3学期のめあて」の発表がありました。みんなとても立派に発表してくれました。ぜひ、達成してほしいなあと思います。

校長先生も同じように、3学期のめあてを考えました。

それは、「タブレットを使いこなせるようになる。」です。今、全国でGIGAスクールといって、1人に1台のコンピュータをもって、学習に使っていきましょうという取り組みが始まっています。須坂市でも全校児童分のタブレットを買っていただきました。3学期から少しずつ使い方などを習っていくことになります。校長先生も皆さんに負けないようにタブレットの使い方を勉強して、いろいろ

ることができるようになりたいと思います。

3学期に、みなさんに心がけてほしいことを伝えます。

1つ目、学校にあいさつの声を響かせよう。

「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」など、明るく、温かく、自分からすすんでできるといいですね。校舎の中や外で、みなさんのあいさつの声をいっぱい響かせましょう。

2つ目、ありがとうで笑顔の輪をひろげよう。

11月のなかよし旬間で、各クラスの「ありがとうの花束」が飾られました。友だちにしてもらったことや、かけてもらった言葉でうれしい気持ちになるというのはとても素敵なことですね。たった一言、ありがとうと返すだけで、相手の友だちも幸せな気持ちになります。その様子を見たり、聞いたりしている、まわりの人たちも明るく楽しい気持ちになり、みんなが笑顔になります。そんな3学期にしたいですね。

3つ目、2学期と同じです。「3学期に頑張ったことは〇〇です。」と自信をもって言えるようなチャレンジをしましょう。皆さんの3学期のめあては何ですか?決して大きなめあてでなくていいので、自分がどういうふうにするかをはっきりさせておきましょう。例えば、「勉強を頑張る」だけではなくて、「漢字練習を毎日1ページずつやる」、とか、「コロナにかからないようにする」より「食事の前や掃除の後に手洗いや消毒をする」というように、具体的にやることを決めていくことです。

3学期の最後に、頑張った自分、チャレンジした自分に「よく頑張ったね」と言ってあげて、自信をもって、胸を張って次の学年、6年生は中学校に進んでほしいと思っています。

3つのことをお願いしましたが、このことは皆さんが今まで取り組んできていることです。当たり前のことかもしれませんが、それを最後までやりきること、それが学年の最後の仕上げとなります。短い3学期ですが、いい学期にしたいですね。これで校長先生のお話を終わります。

# スキー教室に行ってきました！ 1月14日（木）

1月14日（木）に4・5・6年生が、ヤマボクワイルドスノーパーク（山田牧場）でスキー教室を楽しみました。それぞれの技能レベルに分かれて、インストラクターの方の熱心なご指導のもと、安全にスキーを楽しむことができました。お陰様で、あっという間に技能も向上し、青空の広がるゲレンデを気持ちよく自由自在に滑っていました。お昼のカレーをぺろりと平らげ、おかわりも十分して、午後も思う存分スキーを楽しみました。

保護者の皆様には、準備等お世話になりました。ありがとうございました。



## 先生方の研修（UD・MIM）

### UD（ユニバーサルデザイン）

全ての子どもが、自分らしく学ぶことのできる授業づくり、学級づくりの基盤となる内容について、研究を進めています。

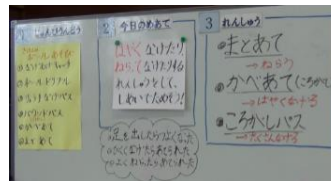
- 学習する子どもの視点に立っているか。
- 子どもの多様性に着眼しているか。
- 一人一人の子どもの応じた学びを実現しているか。
- 資質・能力の育成に向かっているか。



3年西組：算数科研究授業  
「二等辺三角形を書こう」



3グループに分かれて  
の授業研究会



2年西組  
体育科研究授業  
ホワイトボード  
を2枚使って、  
授業の流れにそ  
って「めあて」  
「練習」「対戦  
表」等を掲示し  
た。

### MIM（ミム Multilayer—多層 Instruction—指導 Model—モデル）

MIMの開発者によると、9歳までに適切な教育が受けられなかった子どもの場合、その内の実に70%が読みのつまずきを生涯もち続ける可能性があることが報告されています。1・2年生のうちに3ステージ（下部写真参照）の子どもたちを減らしていくことが、とても重要だということです。そこで、1月19日に長野県教育委員会事務局 特別支援教育課指導係 指導主事 鶴田 恵市 先生にご来校いただき、MIMの示範授業をしていただきました。つまずきのある読みから流暢な読みができるように、視覚や動作を通して言葉の構造を理解していく授業です。MIMの学習を通して、「読み名人」を目指します。

